

LINK-J × 鶴岡サイエンスパーク

鶴岡発ベンチャーが創る タンパク質素材革命

2018

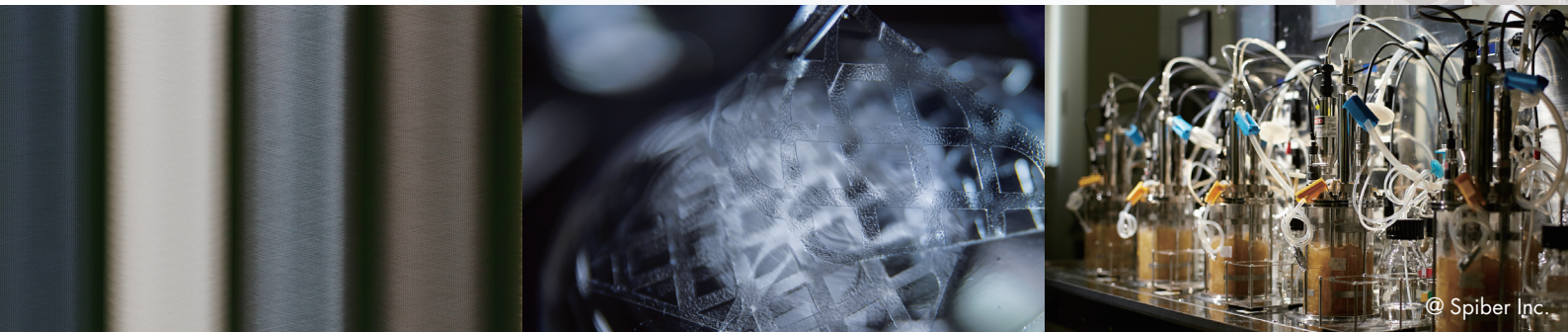
第3回

7.2 月

18:30-21:00 (18:00 受付開始)

20:00 - 21:00 懇親会

会場：日本橋ライフサイエンスビルディング 2階 201 会議室



● 司会

トミタ マサル

富田 勝

慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長



● 講演者

セキヤマ カズヒデ

関山 和秀

Spiber 株式会社 取締役兼代表執行役

「Proteins as a solution – a new industrial ecosystem」

化石燃料などの限りある資源に頼らない、クモ糸をはじめとした「構造タンパク質素材」を、新世代の工業用基幹素材として大規模に普及させるため、Spiberの研究開発や事業化への取り組みについて関山代表にご講演いただきます。

鶴岡
視察ツアー

9.14 金 15 土

鶴岡サイエンスパーク視察&ディスカッション

ツアーコンダクター 富田 勝 所長

富田所長およびLINK-J担当者同行し、鶴岡サイエンスパークおよび鶴岡市内の観光スポットを周ります。募集人数は30名を予定しております。詳しくはLINK-JのWEBまたはSNS等にてご案内いたします。

プログラム

- 18:30 - ご挨拶
- 18:40 - ご講演
- 19:25 - パネルディスカッション
- 20:00 - ネットワーキング

会場へのアクセス

日本橋ライフサイエンスビルディング 2階

東京都中央区日本橋本町 2-3-11
日本橋ライフサイエンスビルディング
東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅A6出口より徒歩3分
またはJR 総武線快速「新日本橋」駅5番出口より徒歩2分



参加申し込み

下記サイトよりお申込みください

<https://peatix.com/event/386146/>



※ LINK-J サポーター・会員の方は、
割引コードをお伝えしますので、LINK-J までご連絡ください。

参加費

- LINK-J 会員 ¥500
 - 非会員 ¥2,000
- ※飲みもの、軽食付（懇親会）

お問合せ

一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J)

TEL:03-3241-4911 (平日 9:00-17:00)
E-mail:contact@link-j.org web:www.link-j.org

登壇者プロフィール

富田 勝 トミタ マサル

1957年東京生まれ。慶應大学工学部卒業後、米カーネギーメロン大学に留学し、コンピュータ科学部で修士課程と博士課程修了。その後、カーネギーメロン大学助手、助教授、准教授、同大学自動翻訳研究所副所長 歴任。1990年より慶應義塾大学環境情報学部助教授、教授、学部長（2005年～2007年）歴任。現在、慶應義塾大学先端生命科学研究所所長。

米国 National Science Foundation 大統領奨励賞（1988）、日本 IBM 科学賞（2002）、科学技術政策担当大臣賞（2004）、文部科学大臣表彰科学技術賞（2007）、International Society of Metabolomics 功労賞（2009）、福澤賞（2009）、大学発ベンチャー表彰特別賞（2014）、Thomson Reuters Highly Cited Researcher（2015）、Audi Innovation Award（2016）、国際メタボローム学会終身名誉フェロー、山形県特別功労賞などを受賞。取得学位：医学博士（分子生物学）、工学博士（電気工学）、Ph.D（情報科学）
慶大発ベンチャー企業「ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ（株）」を創業し、2013年東証マザーズ上場。人工クモ糸の「スパイバー（株）」、唾液で癌診断のサリバテック社など 技術顧問。
サイエンスアイ（NHK）、真相報道バンキシャ（日本テレビ）、NEWS23（TBS）、朝日ニュースター（BS 朝日）、日経プラス10（BS JAPAN）などのコメンテータを務めた。

関山 和秀 セキヤマ カズヒデ

1983年1月2日、東京生まれ。2001年慶應義塾大学環境情報学部入学、同年9月から先端バイオ研究室である富田勝研究室に所属。

2002年より山形県鶴岡市にある慶應義塾大学先端生命科学研究所を拠点に研究活動に携わり、2004年9月よりクモ糸人工合成の研究を開始。これを事業化するため大学院に進学し、博士課程在学中の2007年9月、学生時代の仲間と共にスパイバー株式会社を設立、代表取締役社長に就任。2015年10月、世界で初めて工業ラインで製造したアウトージャケットのプロトタイプを発表。2016年9月、国内自動車メーカーがパリモーターショーで発表したコンセプトシートに当社開発素材が採用。

機関投資家等から170億円以上の資金を調達し、産学官と連携しながら、豊かで持続可能な人類社会の実現に向けた課題解決に取り組むべく、化石燃料などの限りある資源に頼らず生産されるクモ糸などの「構造タンパク質素材」を新世代の工業用基幹素材として、大規模に普及させる事業開発に取り組んでいる。出願特許多数。